



豪雨が土木、農林業施設に

多大な被害をもたらしました

しています。ただし、病害虫の発生が心配されますので、今後適切な指導をしていきたいと考えています。

今後も、低温傾向に推移するこ

五月七日から八日にかけての豪雨では、降り始めからの降水量が陣場で一六二ミリ、市の中心部でも約一〇〇ミリを記録しました。

当日は、各課の防災担当職員が早朝からパトロールを行って警戒に当たり、河川の増水などによる危険箇所など数カ所で通行止めの措置を講じました。また、池内地

とや天候が荒れることが予想されることから、気象情報に注意を払い、関係機関と連携を図りながら技術、管理両面から指導を徹底していきたいと考えています。

内の農業用水路では、堤防超えや決壊の危険があったことから、広域消防職員や消防団員などが出勤して、土のうを積んだり、立木を利用して水防工法を実施したりして、家屋などへの被害を未然に防ぎました。

この豪雨による被害状況は、土木関係では道路災害が五カ所、河川災害が十七カ所で、総額は一億三千七百万円。農林業関係では農地の畦畔決壊や農道の法面崩壊などの被害が十七カ所、林道災害が法面崩壊四カ所で、被害総額は五千五百二十万円となっています。

今後、国の災害査定を受け、緊急度の高いものから早期の復旧に努めていきます。

また、豪雨の影響で五月十一日に発生した八幡平の土石流災害により、米代川が非常に濁ったため、水道水の浄化に通常の二倍の時間を要する事態となり、給水量の確保が心配されました。そのため、

作業を二十四時間体制とし、併せて、長根山浄水場をフル稼働して対処したところ、幸いにも給水制限までにはいたりませんでした。

さらに、一時、米代川の水質汚染が基準値を超えたことから、水道水への影響が心配されましたが、浄化を徹底した結果水質検査では特に問題ありませんでした。

今後、二次災害の危険性もあることから、引き続き不測の事態に備え体制を整えているところです。

市立総合病院の経営改善

計画を上回り、順調に推移

市立総合病院の経営改善については、平成七年から六年間で経営の健全化を図るために、年次計画で取り組んでいるところです。その計画に従い、職員一丸となって努力してきたところ、平成七年度の黒字に続き、平成八年度においても収支状況が順調に推移してきましたので、今年三月に期間短縮の計画変更をしたところです。

平成八年度決算は、二億六千七百円の黒字となる見込みであり、計画初年度に五億五千八百万円あった不良債務は解消されました。また、累積欠損金も七億八千八百万円に減少する見込みです。このように経営健全化完了への条件が



木流し工法で堤防の決壊を防ぐ

その他の行政報告

- ▽大館樹海ドームのオープン記念事業など(4、5ページに関連記事)
- ▽平成八年度の各会計決算見込み
- ▽公共事業の発注計画
- ▽ダイオキシン対策
- ▽工業用水道事業の工事計画
- ▽こども科学室のオープン
- ▽山田記念ロードレース大会